

★ やよい図書館 ★

新年のごあいさつ

少し遅くなりましたが、新年明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いいたします。

2012年が始まってはや一ヶ月が経ちました、新年会を行った記憶も若干薄らぎ、ましてや忘年会などは忘却の彼方かもしれません。

昨年は忘年会を宴会に留めず文字通り年忘れをしたいほど忘れがたい年でした。東日本大震災では多くの方がお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りいたします。各地で甚大な被害が伝えられる一方、プレハブ小屋を使った図書館を開館し、子どもたちが楽しそうに本を読む姿もわずかながらに伝えられています。想像を絶し、筆舌に尽くしがたい体験を余儀なくされた方々にとって、本を読むということがささやかながらも確かな癒しにつながってってくれることを心より願うばかりです。

そして、私たちとともに本および読書があります。重大な困難に遭遇しても、なお手放すことのないそれらに私たちは何を見出しているのでしょうか？

ここで、本を手にする状況にはさまざまなものがありそれを思いつくまま挙げていきます。

- 男女間のラブロマンスに魅了される読書。
- 近々観光に行くときにいいお土産を買いたいからと旅行ガイドを手に取りプレゼントする相手を思い浮かべ笑みがこぼれる読書。
- お子さんの笑顔を見たくて絵本を読み聞かせる読書。
- 家族を養うために自らのスキルアップを誓って実用書を手にする読書。
- 過去の歴史を紐解くための読書。
- 思春期特有のほかの誰かに相談するのとはばかられ一人悩まざるをえないときに味方となってくれる人を探すための読書。
- 名探偵と犯人との頭脳戦にハラハラドキドキする読書。
- 「生きるとは」、「人間とは」といった根源的な問いの追究が喫緊の課題になった方が同じ問いを発した古今東西の人たちの著書に触れ真実に迫ろうとする読書。

そのほかにも、挙げれば際限なくできます。

そのことが示すのは人生のありとあらゆる状況で私たちは知識知恵を求め、そのときどき本を手にとってきたということです。

多種多様な私たちに寄り添うように本にもまた色々なものがあり、時空を超えて支えになってくれるものもあります。

2012年もぜひ、本 および 読書 を皆様の日常生活に組み込んでいただきたいと思います。



やよい図書館館長
吉田 朋生

★読書の窓 2月に読みたい本★

チョコレートが食べたくなる本!

2月といえばバレンタインデー。この時期たくさんのお店でチョコレートコーナーが増設されますね。誰かにチョコレートを贈る人、もらう人、自分用に買う人もいるのでは？これほど身の周りにチョコレートが溢れる時期は他にないでしょう。どうしてこんなに日本人のチョコレート熱が上がるのか。チョコレートの魅力って？そもそもチョコレートはどうやって生まれたの？すでにその魅力にとりこの人もそうでない人も、読書でチョコレートを味わってみませんか。

『「チョコレート工場」からの招待状』

チャールズ・J・シールズ／著 文芸堂
持ち前のユーモアと不屈の精神で様々な困難に立ち向かい、世界的に有名な作家・脚本家となったロアルド・ダールの伝記。『チョコレート工場の秘密』を書くヒントとなったエピソードをはじめ、知られざる逸話も載っており、改めて彼の作品を読み返したくなります。



『天才ダールのとびきり料理』

ジョージ・ファイン フェリシティー・ダール／編 評論社
ロアルドの作品に登場する「大きな大きなワニ」「へっぴり虫の卵」など楽しくて奇抜な料理が食べたくなったら、この本を手にとってみて下さい。挿絵・写真付のユニークなレシピが満載です。

『おいしいチョコレートブック』

日本チョコレート・ココア協会／協力 ナツメ社

いつも気軽に食べているチョコレートは、実はとても奥が深い大人の嗜好品。原料であるカカオや製造工程、歴史、各国のチョコレート事情、その他雑学など、知識があるとその楽しみはぐっと広がります。載っているレシピを参考に、好きな人へ、親しい人へ、そして自分へのご褒美に作ってみませんか？
目と頭と胃袋で楽しめる本です。



『チョコレートの本』

ティータイム・ブックス編集部／編 晶文社

カカオの学名テオブロマ・カカオの「テオブロマ」とは、ギリシア語で「神様の食べ物」という意味。かつて貨幣だったこともあるチョコレート。その誕生以来、世界中の人々が惹きつけられ様々なドラマが生まれました。知れば知るほど深いチョコレートの魅力を、色々な角度から教えてくれる1冊です。



『チョコレートだいすき!』

ブライアン・モーセズ／著 教育画劇
チョコレートについて即席知識を身に付けたい方におすすめ。チョコレートの起源やできるまでが、かわいいイラストで分かりやすくまとめられた絵本です。チョコレートクランチのレシピも載っています。子どもから大人まで、みんなで楽しく読める本です。



ことばであそぼう!

しりとり、なぞなぞ、だじゃれ、早口言葉、替え歌など小さい時から親しんできた言葉遊び・音遊び。子供から大人まで、読んで聞いて口ずさんで楽しめる詩を紹介致します。

- ・『ことばあそびうた』谷川俊太郎／詩 福音館書店
- ・『しゃべる詩あそび詩きこえる詩』はせみつこ／編 富山房
- ・『まどさんとさかたさんのことばあそび』まどみちお／文 小峰書房
- ・『ことばあそびをしよう』村田栄一／著 さえら書房

替え歌・かぞえ歌・なぞなぞ・回文・
だじゃれ・しりとり・早口言葉...

